

港区国際化推進プラン（素案）に寄せられた区民意見について

1 区民意見募集（パブリックコメント）

(1) 募集期間 令和2年12月1日～令和3年1月5日

(2) 人数・件数

人数	2人
うち 郵便	0人
インターネット	2人
FAX	0人
持参	0人
件数	3件

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 区民意見の内容

No.	区民意見	区分
1	調査に回答した外国籍の方のうち、地域活動に参加したいと考えている人が約6割いるという結果が出ていますが、地域活動に参加することによって、外国につながる人たちが、どのようなことを期待しているのかを具体的に知りたいと思いました。「興味がわくものであれば参加してみたい」のところを、今後もし機会があれば、もう少し掘り下げてほしいです。	インターネット
2	在留資格別の数字を見ると、港区に住む外国籍の方のうち、約4割の人たち（永住者、特別永住者、定住者、日本人の配偶者など）は日本に長期的に暮らす可能性の高い人たちです。中には生まれも育ちも港区、あるいは港区で晩年を過ごすという人もいるかもしれませんし、居住の長期化に伴い、地域資源と関わる領域もますます広がってくるはずで。今後、外国につながる人たちのライフサイクルの視点から（多様なので単純に一つのパターンとしてまとめられるものではないと思いますが）、それぞれのステージでどのようなことが起こりうるのか、もし「壁」があるとしたらそれがどのようなもので、港区であればどのようなサポートが活用できるのか、などを示すものができること、外国につながる人と地域との関わりしろが、人生の時間軸のなかでもっと具体的に見えてくるのではないかと思います。	インターネット

3	<p>地域の活動に参加してみたい人の10人に1人は参加していない（日本人での統計がどのくらいの割合になるのでしょうか…）という課題や、半数程度の人が日本の文化に興味があるという回答は、やはり暮らしている国やそのエリアに関わりたいという気持ちは強いんだなあに興味深く読んでいました。</p> <p>ですので、新たな取り組みとして、日本語教室や日本文化の発信といった取り組みはとても意義深いものだと思います。</p> <p>この素晴らしい取り組みが、港区に暮らす「日本人」にもたくさん届いてほしいと願っています。自分自身が、港区への帰属意識はかなり薄かったこともあり、なかなか港区の発信する情報に触れる機会が少なかったかと思っています。</p> <p>港区さんでもいろいろと情報は発信されているかと思いますが、こうした取り組みに関わる人が、周りをどんどん巻き込み、情報発信が得意な人はSNSで発信するなど、小さなことから広がっていくことを期待しています。</p> <p>私も微力ながら、そういった発信をしていきたいと思っています。</p>	インターネット
---	---	---------